

はくば SPF 豚農場だより

第10号 発行日 平成23年3月12日 発行者 全農長野県本部 本部長 埋橋 茂人 大北農業協同組合 組合長 西山 隆芳
北安曇郡白馬村大字北城 15917-12 TEL72-2716 <http://www.hakubanobuta.com/>



全農長野

 大北農業協同組合

ごあいさつ

早春の候、皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より「はくばSPF豚農場」の事業運営につきまして、格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

事業者としましては、協議会でお示しした対策を継続して実施するとともに、さらなる臭気軽減の為の情報収集に努めているところであります。しかしながら、住民の皆様にご納得いただける状況には至っておりませんことをお詫び申し上げます。

事業者としての役割を全農・JA大北全体の問題としてとらえ、引き続き一丸となって臭気対策に取り組んで参りますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

発行日 平成23年3月12日
全農長野県本部 本部長 埋橋 茂人
大北農業協同組合 組合長 西山 隆芳



1. 平成22年度の報告について

①臭気対策プロジェクトチーム（はくばSPF豚畜産環境対策協議会）による4回の臭気調査が行われました。



第1回臭気調査推進会議を開催
6/14(月)16:00～JA大北白馬支所



第2回臭気調査 夜間調査打合せ
7/12(月)18:00～農場進入路側本部テント

・臭気調査個所

白馬村 立の間、西通、東通 小谷村 川内、白馬大池、梨平、滝の沢、坪の沢
※立の間・東通・川内・梨平については24時間調査を実施

○臭気調査の実施状況

回数	実施日
第1回	平成22年 6月14日(月) 19:00～15日(火) 19:00
第2回	平成22年 7月12日(月) 19:00～13日(火) 19:00
第3回	平成22年 8月31日(月) 19:00～9月1日(火) 19:00
第4回	平成22年 10月18日(月) 18:00～19日(火) 18:00

今回は、住民の皆様と関係者が同じ認識を共有化する為、事前に臭気に関する研修会、臭気調査推進会議、臭気判定士が同席しての「鼻合わせ」等を行なった上で、調査を実施しました。

又、調査にはすべての調査場所に事業者が立ち会い、農場内の作業状況を逐一調査担当者へ報告しました。

②臭気対策プロジェクトチーム（はくばSPF豚畜産環境対策協議会）による臭気調査結果の住民説明会が行われました。

月日	時刻	内容	場所	参加者
8/25(水)	19:00	第1回・第2回の臭気調査結果(中間報告)	小谷村クリーンコスモ姫川	小谷村住民、協議会、事業者、調査担当者
8/31(火)	19:00	第1回・第2回の臭気調査結果(中間報告)	白馬村立の間生活改善センター	白馬村住民、協議会、事業者、調査担当者
12/21(火)	19:00	第1回～第4回の臭気調査結果	白馬村塩島基幹センター	白馬村住民、協議会、事業者、調査担当者
12/21(水)	19:00	第1回～第4回の臭気調査結果	小谷村役場	小谷村住民、協議会、事業者、調査担当者



8/25 小谷村内にて住民説明会の様子

22年度の調査では、豚そのものの臭いは少なく、豚臭対策への効果は認められたものの、堆肥臭が多く感じられたことが指摘され、堆肥舎施設および、堆肥化作業への臭気軽減対策とともに、現場従業員へは清掃の徹底・丁寧な作業等、臭気軽減に対する意識向上を強く求められました。

2. 平成23年度の環境対策について

臭気調査結果報告の指摘事項を踏まえ一層の臭気軽減を図るため、下記事項について今後の環境対策をすすめて参ります。また、実行可能な対策については早期に取り組みます。

1. 豚舎内の清掃強化



農場入口洗浄作業

- ① 豚房の床「スノコ下」の清掃を強化します。高圧洗浄機を1台から2台に増設し、洗浄を継続しています。
- ② 排気ファン周辺の清掃を行います。埃がたまつた排気ファン周辺を炭交換時に合わせてプロア等で清掃し、さらに水シャワー内部の洗浄を同時に行なっています。(月1回)
- ③ スクレーパー(豚舎内の糞尿排出装置)稼働回数を1日2回から1日3回に増やしました。
4月より農場ニュースで住民の皆様へお知らせの上、実施中です。

2. 堆肥舎からの粉塵発生防止

堆肥製品落下地点のベルトコンベア周辺に強化ビニールカバーを設置し、粉塵の発生を抑えています。(4月30日設置)



強化ビニールカバー

3. 新型脱臭装置の増設

- ① A舎南側・旧型炭脱臭装置を新型脱臭装置へ改良しました。
(5月13日より稼働)
- ② 離乳舎北側・脱臭装置の一部を改良と増設、分娩舎へ新型脱臭装置を増設しました。(3月16日より稼働)



新型脱臭装置

4. 肥育舎尿搬送ライン中継枠の密閉

中継枠周辺の黒パイプによる立ち上げ部分を塩ビ管に変更し、密閉度を上げて臭気を抑えました。(4月20日完成)



密閉された中継枠

5. 净化槽臭気軽減対策

第3・第4バッキ槽を囲い密閉しました。(4月10日完成)

6. 農場内肥育豚移動用車のコンテナ化と出荷出口の密閉化

農場内豚移動用車をコンテナ化するとともに、出荷出口を密閉化しました。
(5月24日～9月3日3カ所整備完了)



バッキ槽を覆うシート

7. 臭気対策に係わる施設メンテナンスの継続

洗浄・清掃の強化による環境整備を継続しています。



排水路清掃作業

8. 苦情対応の迅速化

- ① ウオッチャー会議を、平成22年1月21日より12月8日までに17回開催しました。農場内従業員同席の上で開催し、住民の要望にお答えするための情報を共有化しています。
- ② ウオッチャーおよび事業者・農場従業員の連絡体制をさらに密にするため、臭気担当者の農場訪問の回数を増やし、農場内従業員との情報交換を密に行い、迅速な苦情対応への取り組みを継続しています。

1. 環境対策

■ 基本的な施設管理の徹底

(1) 清掃の徹底・丁寧な作業・作業者の環境対策に関する意識向上

- ① 清掃マニュアルを策定し、それに基づく作業を行い、チェックする体制を強化します。
- ② 作業者に対しては、意識を向上させ、課題の共有化を図るために、毎月行うウォッチャー会議への出席と研修を行います。

2. 堆肥化作業に関するこ

① 清掃の徹底、丁寧な作業

環境対策マニュアル、清掃マニュアルに基づく作業を行います。



② 糞尿分離の徹底

装置のメンテナンスを強化するとともに、糞尿分離が十分に行われるよう、こまめな機械調整を行います。



③ 消化性の高い飼料の使用

消化性の高い飼料について継続して研究、糞尿の減少を図ります。



④ 水分調整剤(もみ殻)の確保

管内の糞尿を確保するとともに、不足しないよう外からの手当ても行います。



⑤ 堆肥化促進資材の導入

微生物資材を活用した堆肥化促進を行い、同時に専門家による調査を実施し、関係機関の指導を受けます。



・臭気判定士による堆肥舎の臭気指数調査を毎月1回実施しています。

・農場担当者による堆肥舎内のアンモニアの濃度測定を毎週1回実施しています。

3. 事業者による住民懇談会を開催しました。

3. 堆肥化施設に関すること

■発酵槽の臭気軽減

①平成23年5月末までに、堆肥攪拌時の臭気を天窓より吸引して脱臭する装置を導入します。



②平成23年5月初旬までに、堆肥舎南および、西側のシャッターを改修します。



■住民の声に基づいた誠意ある対応を強く求められました。



平成23年1月25日に事業者による「住民懇談会」をJA大北小谷地区支所で開催しました。今後も各地区で継続して開催し情報提供と御意見の集約を行ない環境対策に生かして参ります。

4. 豚臭の軽減に関すること

①清掃の徹底

清掃マニュアルを策定し、それに基づく作業を行い、チェックする体制を行います。

②出荷待機場の臭気対策

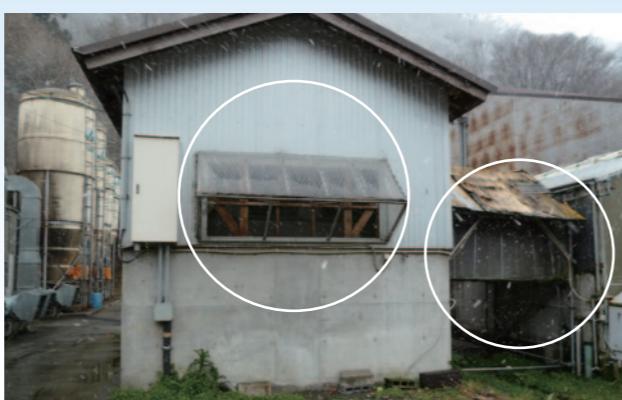
平成23年5月初旬までに入口、出口にエアカーテンを導入します。



出荷出口待機場のエアカーテン導入予定箇所

③脱臭装置の改修

平成23年5月末までに、肥育舎B棟北側の炭脱臭装置を新型脱臭装置に改修します。



肥育舎B棟北側の炭脱臭装置改修予定箇所

4. 第12回はくば SPF 豚畜産環境対策協議会が開催されました。

■平成23年度の環境対策の早期実施を目指します。



平成23年1月27日に白馬村役場で開催されました。以下の協議がされ、5月までの対策を確実に実施することを強く求められました。事業者と致しましては決められた対策を早期に行ない臭気軽減を目指すことを確認致しました。

- ①協議会の活動状況
- ②臭気調査結果について
- ③環境対策の実施状況
- ④今後の環境対策について
- ⑤臭気調査結果説明会における意見等及び姫川の水質等について

環境対策協議会の様子

臭気に関するご意見・お問い合わせ先番号

080-1330-0974

上記番号がつながらないときは 0261-22-1842 (JA大北本所営農部)